

第5回鹿野地域振興会議議事概要

日 時：令和元年10月23日（水） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：鹿野町総合支所2階 会議室

【出席委員】

高田守、小川義和、山下直司、砂川重雄、山本章、筒井洋平、向井健太郎、田中文子、藤原真道

以上9名出席（敬称略）

【欠席委員】

兼平恵、池原美穂、佐々木千代子（敬称略）

【委員以外の出席者】

（鳥取市生活交通創生ビジョン策定に向けた意見交換会のみ）

中川和彦、山田薫、田中義宏、村上光重、森村仁志

以上5名出席（敬称略）

【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、岡田産業建設課長、三谷市民福祉課長、小林地域振興課長補佐

【交通政策課】

湯谷課長、筒井課長補佐、井殿主事、(株)バイタルリード2名

【傍聴者】

なし

【日 程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 鳥取市生活交通創生ビジョン策定に向けた意見交換会

(資料ダウンロード)

4 報 告

(1) 行事予定

(資料ダウンロード)

(2) 津和野町交流について

(資料ダウンロード)

5 議 題

(1) 令和2年度先進地視察について

(H30は、日南町のコンパクトビレッジ、公共交通、移住定住施策を視察)

(2) 委員提案「西いなばマラソン大会について」

(資料ダウンロード)

(3) その他

6 その他、情報提供

7 閉 会

◎議事概要

鳥取市生活交通創生ビジョン策定に向けた意見交換会

交通政策課より別冊資料に基づき説明

【委員】 運行便数の考え方について、鹿野は30便も走っているのか。

【交通政策課】 往路復路各1便で算定しています。

【委員】 循環バスについての要望だが、

- ・予約便について、予約した後都合で乗れなくなった場合にキャンセルはいつまでにすればよいか。必ず乗らないといけないと思い、予約を躊躇してしまう。
- ・予約便について、利用区間のみの運行とならないか。自分が乗るために全路線運航するのはもったいない。また、予約便でもバス停以外で乗り降りできないか。
- ・学校で土日の行事があるときは、通学時の運行をしてもらっている。地区行事の際もお願いできないか。
- ・小鷲河地区公民館前にバス停を設置できないか。フリーバスなので乗り降りできるが予約便の際頼みづらい。

以上のことを考えてほしい。

【交通政策課】 ダイヤ編成見直しにあたっては、利用実態を含めて意見交換の場を設け運行する翼運輸と協議していきます。

【委員】 循環バスの小鷲河からの終点が総合支所前となっているが、高齢者にとって医院やスーパーまで遠いため困っている。もう少し東側を終点にできないか。

【交通政策課】 循環バスと日ノ丸バスの路線が重複すると料金差が発生することがネックとなっていると考えます。事業者の了解があれば認められるので、生活交通会議に諮るよう検討します。

【委員以外の出席者】 循環バス、大和ふれあいタクシーなどの運営資金制度を教えてください。

【交通政策課】 循環バスは市からの委託料で全額賄っています。大和などの共助交通は、平成31年度からは車両購入は上限350万円まで、運行経費は料金収入を除いた全額と管理費として運行経費の10%を補助しており、ほぼ持ち出しなしで運行されています。

【委員】 別冊資料にある安来市のボランティア運送（互助交通）「ふくろう号」

のような制度は鳥取市でも可能か。

【交通政策課】 互助交通は料金徴収をせず地域住民で燃料代などを負担する制度です。安来市では車両は市が購入に自治会に譲与しており、運行についても補助が出ていると思われます。鳥取市では互助交通への補助は行っておらず、地域のイベントや視察などにも活用できる空白地有償運送（共助交通）を全市的に広めていくこととしています。

【委員】 共助交通だと安全管理の体制をとるのが厳しいのではないか。

【交通政策課】 共助交通の運転者は2種免許が不要で講習のみで登録可能であり取り組みやすい制度となっています。半面、事故対応などの安全管理については、現在の実施団体からも課題とする意見が上がっています。対応策としましては、タクシー会社などに運行管理を委託することが考えられており、法整備の検討が進んでいるところです。また、運転者の高齢化による若返り対策も課題の一つです。

【委員以外の出席者】 次の点について考えを述べたい。

- ・ 高齢者の利便性向上のため医療機関が行っている送迎との連携はできないか。
- ・ 利用者数調べについて路線ごとではなく、区間ごとにできないか。
- ・ 予約便が走ることが予約者以外の地域の方にわかるようにできないか。
- ・ 乗継した場合に1回分の運賃で乗車できるようにならないか。
- ・ 高齢化で運転できなくなった時のため、住民側も公共交通に対する意識を高める必要があり、そのためのビジョンでもあってほしい。

【交通政策課】 病院、福祉施設などのバス運用は調整が取れば可能性はあるが、どこが主体となるかが課題と考えます。乗継については、利用実態が多ければ検討していきます。現状では、日ノ丸の回数券が循環バスでも使用できます。住民意識の醸成を図ることは公共交通の維持確保のため大きな意味を持ちますが、ビジョンの作成意義の一つでもあり、次年度以降も継続して地域のみなさまの意見を聞く場も設けていきます。

【委員】 利用実績調査などの書面・数字だけではなく、今会議の様に実態の声を聴く機会を設けていただきたい。

【委員以外の出席者】 循環バスをNPO等が運行することはできるか。

【交通政策課】 市が事務局の法定協議会「交通会議」で認定されれば可能です。

【委員】現在自家用車を使っている方は公共交通に乗りなれておらず、免許返納しても公共交通に乗る意識が低い。乗車率が低いバスを走らせるのはもったいないので、共助交通の制度などPRして住民に公共交通への問題意識を持ってもらえるよう取り組んでほしい。

【交通政策課】公共交通はバスをイメージしがちだが、タクシーや共助交通もあるので組合せで考えることもできます。

【委員】使い勝手が良ければ利用につながる。

【交通政策課】利便性を高める手段としては、共助交通の方が地域内で利用方法を考えられるので有効です。鹿野地域では共助交通の運転者になってもよいとのアンケート回答が他地域と比較して高く、協力的な地域であります。情報提供させていただきますので、将来を見据えた検討をお願いします。

【委員以外の出席者】児童生徒の通学について、部活動の関係でもう1便あればという要望はある。乗車率を上げなければならないが、自家用車で送迎する保護者が多い。

【委員】鳥取駅までのバスは利用が少ないと思う。日常の利用を考えれば、鹿野地域内の交通手段を密にして、使い勝手を良くしていただきたい。

【委員以外の出席者】勝谷地区でバス停から400m以上の空白地となっている集落が多いが、昔からバス停は変わっておらずバス停が遠い感覚はない。分析の仕方について確認したい。また、400mの基準はどうか。

【交通政策課】最長距離の住家で判断しているためです。400mの基準は全国の調査手法を参考に鳥取の地域性を加味して決定しています。

報告事項

(1) 行事予定

事務局より資料1に基づき説明

(2) 津和野町交流について

事務局より資料2に基づき説明

【委員】亀井検定は一回きりで終了か。しっかりしたガイドブックなどを作るには予算等も足りないと思うが。

【事務局】単年度で終わりにせず、継続的な取り組みとする予定です。将来的に

は亀井検定で作成するガイドブックを情報発信や観光振興に役立てられるようなことも考えています。

【委員】訪問時期は、雪のことを考慮して検討していただきたい。

議 題

(1) 令和2年度先進地視察について

【委員】のれんの街 勝山はどうか、きれいな街である。

【委員】南部町が、地域との連携で若者を育てる活動をしている。

【事務局】視察は実施することとし、提案された2件を参考に予定させていただきます。

(2) 委員提案「西いなばマラソン大会について」

提案委員より資料3に基づき説明

【委員】以前は、鷲峰走破大会、鹿野往来マラソンがあったがなぜなくなったか。

【事務局】鷲峰走破は、山道を走るため出場者を増やせない等の理由があります。往来マラソンは、町内のランニングクラブ「鷲走会」が実施していたが、鳥取マラソンと時期が近く参加者が少なかったと聞いています。

【委員】発着は道の駅で考えているか。

【提案委員】渋滞等が懸念されるので他の場所となる。

【委員】マラソン自体は、地域の魅力発信など経済効果があるが、参加者を集めるにはフルマラソンがあった方が良い。大きな大会となるため、地域振興を担う会社などが運営主体となった方が良い。

【委員】どこが中心となってやっていくのかが重要となる。

【事務局】行政が実施主体となるのは難しいと考えます。

【委員】費用について、参加費である程度回収できると思うが、初期投資が必要なため、ある程度の組織が担わないといけない。

【事務局】自転車イベントは、交流館が中心となっています。

【委員】実施時期は台風などを避ける検討をしなければならない。

【委員】総合型地域スポーツクラブ「鹿の助」などの小規模な組織では運営が難しいと思う。組織づくりからする必要がある。

【委員】 地域の特産を中継所やゴールで振舞うなど地域振興には有効である。また、ネーミングが良ければ人も集まる。

【委員】 振興会議としての立ち位置はどうなるか。

【事務局】 西ブロックの地域振興会議で、西地域合同のイベントがあれば、という意見を受けての提案です。この場では趣旨には賛同することとし、今後、実施主体となりそうな団体等に働きかけるなどの活動を行っていければ、と考えます。また、気高、青谷にも本意見の情報提供は必要だと思います。

【委員】 事務局提案のとおりとする。

その他、情報提供

【委員】 県道の立町入口にある看板が、「鹿野中学校」のままとなっている。「鹿野学園」に修正するよう事務局から県に伝えてほしい。

閉 会